ゆずりはの森から

第192号
2019年8月29日発行

NPO法人
ゆずりは学園

小学生
中学生
高校生
大学生
社会人

17回目の夏のイベント「学園祭」8月17日(土)

テレビ取材も

今はゆずりは学園のバスケット場になっている場所に、私たちが作ったフリースクールがありました。そこで2003年8月23日、初めての夏のキャンプをしました。愛知教育大学の学生さんたちと子ども達のキャンプでした。森の中まで続くキャンドル、火の舞、子どもと大学生などのボランティアの若者たちとのキャンプでした。今年で17回目の海と森と仲間作りキャンプが、今は夏のイベント、学園祭として続いています。

飯盒炊飯、流しそうめん、フランクフルト、かき氷、ポップコーン、そしてポニーと犬2匹、生まれて20日の山羊の赤ちゃん2匹。お母さんのお乳を飲んでいます。全国ボランティアの若者が流してくれる流しそうめんを食べた後の、動物ふれあい時間でした。飯盒ご飯の香りを楽しみながらのカレーライス、そして水遊び。台風の後の土用波も少し心配だったため、高校生の海水浴は、NICEの若者たちも慎重に見守ってくれています。

フリーマーケットも終わろうかとしていたら、来年入学希望の家族が来て、再び流しそうめんの開始など、臨機応変の対応に感謝です。

19名のNICEさん。福岡、京都、埼玉、神奈川、千葉、東京、静岡、愛知県の豊橋、豊田、名古屋、豊川から来てくれました。子ども達と一緒に遊び、午後は全身ずぶ濡れ、花火大会までの時間は、元気な声が学園に響き渡りました。

NICEさんは宿泊し、翌日の18日に、学園祭の片づけ、ゆずりはの森の整備、頂上までの山道の整備をしてくれて、またそれぞれの県に帰っていきました。

NICEのお兄さんが流す、そうめん20メートル
(そうめん:長仙寺より)

流木を利用した飯ごう炊飯

山羊、ポニーとの触れ合いタイム

全国ボランティア NICEの若者19名

三河湾での水遊び

TV 地元テレビ「ティーズ」の取材も午前中あり、8月20日㈫より放送されます。

イタリア人の記者が「潮風の電話」を使って

突然のメールが入りました。「ジャパンタイムズの新聞で、潮風の電話のことを知りました。使わせてくださいますか」とのこと。8月9日、田原駅で待ちました。大きなリュックを背負い、ひとりの男性が近づいてきます。ジャンニ・シモーネさんです。お母さんが亡くなったとのこと。ゆずりは学園に着いたのは、もう時間が遅く、電話を使うのは明日ということになりました。

夕日が沈む三河湾を見ながら、しばし話します。私は、英語を話せますが、もう28年間日本に住んでいて、日本語がぱっちりの彼でしたので、では夜のトーキングは、イタリア語の授業となりました。女性名詞、男性名詞、単数、複数、近過去、冠詞、主語、動詞は3つの種類、are動詞、am、am・ama・am・amo・amate・ano大学以来、本当に久しぶりの授業でした。夜が更けて、シエモアの部屋に宿泊です。

8月10日の朝6時30分、潮風の電話に彼が入っていきました。5分以上経ったでしょうか。落ち着いた表情で「ありがとうございました」と、今はもう声も顔も見ることが出来ない愛しい人との会話です。

入学式も、卒業式もない、担任の先生もいない、朝のホームルームもない、すぐに授業開始、そして午後1時くらいには下校。中学生でもとにかく授業が済むとすぐに下校。535制度のイタリア。小学生でも留年。クラスメイトとは遊ばない。同窓会も同級会、成人式もない、学校も少なく、大学も公立1つ、私立はないなど、日本とは本当に多くが違っていました。1990年に彼が日本で見た電車の風景は、みんな本を読んだり、新聞を読んでいたのに、今はみんなスマホばかり。赤ちゃんを連れたお母さんに対しても、妊婦さんにも席を譲らない日本になったと話してくれました。

彼は、今日本の大学でも教えています。筆記用具を忘れても、隣の人に「貸して」と言わず、ずっとメモも取れない学生。

その日、三重県の方にフェリーで向かいました。わずかな時間ではありましたが、潮風の電話にイタリアからのお客さん。日本とイタリアの文化の違い。充実した素敵な時間でした。

8/10(土) Gianniさんと潮風の電話の前で

潮風の電話を使用したGianniさんから感謝の手紙

Dear Kazuko & Tomohiko,

I hope this finds you well.

I came home from Hiroshima on Friday. The typhoon in Hiroshima was not so bad, just lots of rain but no strong winds.

I want to thank you again for your kindness and the way you welcomed me into your life.
During these ten days I had a chance to meet and talk to many poeple around Japan, but meeting you and visiting your school was easily the highlight of my adventure.

Recently another article appeared on the Kaze no Denwa in Tohoku:
http://www.asahi.com/ajw/articles/AJ201906170001.html

I'll do my best to spread the word about Shiokaze no Denwa and the important work you are doing at Yuzuriha Gakuen.

Thanks again, and I hope to meet you again soon.

Your friend,
Gianni

PS I have attached a few photos I took including the beautiful sunset we watched together on the beach.

今月のSHOT

8/21(水) ALTのChris先生と20年ぶりの再会～先生&ご家族と共に～

8/7(水) Noah君が友達を連れてゆずりは学園へ

東日本大震災支援 8/19 そうめん150束 福島の若枝幼児園へ(医王寺より)

お知らせ

発達障害親の会 **ゆず茶**(203回)
○日時／9月20日(金) PM1:30～3:00
(奇数月金曜日)
○場所／田原市中央図書館

発達障害対応マニュアル「異空間のドアを開けて」1,500円 販売中

お問い合せ・連絡先
ゆずりは学園事務局
〒441-3421 田原市田原町池の原15-3
TEL:0531(22)3515 FAX:0531(22)7761
e-mail:kutsuna_ike@yahoo.co.jp
http://www.yuzuriha-gakuen.com/
http://ameblo.jp/yuzurihaschool/
http://ameblo.jp/kutsuna-diary/

募集 NPO法人ゆずりは学園 会員希望者

- 賛助会員／年会費2,000円
- 正 会 員／年会費5,000円
- 寄　　付／自由

銀行
三菱東京UFJ銀行(普) 田原支店
□座名義／ゆずりは学園　理事　沓名智彦
□座番号／3627714

郵便局
□座名義／特定非営利活動法人
ゆずりは学園
□座番号／00870-6-136039

お便りを郵送します。お名前・ご住所をご連絡ください。